

『一部介助』の介護技術

日 程 2019年6月18日(火)(10:00~16:00)

対象者 福祉・介護、医療関係者 推奨職員:(初級~中級・介護職)
及び興味のある方

料 金 会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円

会 場 ウィリング横浜(横浜市港南区上大岡西1-6-1オフィスタワー内)
京浜急行・横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩3分

『一部介助』で大切なことは「どのような介助をどの程度行えばよいのか」評価するポイントを知ることです。そのポイントを知らずに『一部介助』を行うと、介助をし過ぎる事で能力が低下してしまったり、間違った介助をすることで関節痛などの二次的な障害が起きてしまう可能性があります。本研修では『一部介助』が必要な方に対して適切な介助を行うための評価方法や「起き上がり」、「歩行」、「移乗」などの『一部介助』方法を実践形式でお伝えします。

【 講 師 】

特別養護老人ホーム おたけの郷 理学療法士
中村 和人

【略歴】介護老人保健施設 港南おおぞらに勤務後、現在は社会福祉法人エンゼル福祉会で特別養護老人ホームおたけの郷・特別養護老人ホーム藤代なごみの郷を兼務。

ご利用者の身体評価や職員への介護技術指導、居宅ケアマネジャーや地域包括支援センターと連携して家庭調査や介護教室を行なっている。また、ご利用者に適切な支援を継続していくためには、体を痛めない介助方法と共に介助者側の体がケガをしにくい状態であることも大切だと考え、体の不調に対する助言や腰痛改善教室などを開催している。介護技術や拘縮予防のセミナー講師としても活動中。

【共著】「現場で使える ケアマネのリハビリ知識便利帖」(翔泳社)「拘縮・褥瘡を予防・改善するポジショニングとリハ・ケア」(臨床老年看護)・DVD教材「介護負担軽減 重度化予防の全介護技術」(日総研出版)

【情報誌連載・共著】

・知っ得！らくらく！移乗・移動介助のテクニック(通所介護&リハ)・間違いだらけの自立支援(高齢者安心安全ケア)

《カリキュラム》

一部介助の考え方
一部介助の評価ポイント
一部介助方法実践

～座学～

- 認知力の評価
- 歩行補助具の見るべきポイント
- 高齢者の特性の理解と残存機能の活用ポイント
- 疾患別の注意点

～実践～

- 寝返り ○起き上がり○立ち上がり
- 移乗○歩行
- * ボディメカニクスを活用した介護技術を学びます。



法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	() 会員	() 個人会員	() 一般
個人会員番号			

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行	
FAX: 045-671-0295	
TEL: 045-210-0788	
〒231-0023横浜市中央区山下町23 日土地山下町ビル9階	

連絡先	〈住所〉 〒 — — (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)	
	〈mail〉	@
	〈電 話〉	— — 〈ファックス〉 — —
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()	

<参加者名簿>

お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
連絡事項					